令和4年度(令和3年度実施事業分)主要事業評価シート						No.	13-4	
PDCA	主要事業名	畜産環境対策推進事業	部課名	市民経済部産業課	担当	榑原		
					内線	317		
P 総合計画との関係性と予算根拠	総合計画： 2 - 1 - 3 単位施策： 農業 全体事業期間： 令和 3年度 ~ 5年度 全体事業費等： 10,500 千円 会計 一般会計 歳出科目 05.01.04.03.50 3か年実施計画（当該年度事業費等）： 3,500 千円						目標項目（予算計上時に作成） 予算見積書で活用	
	事業概要等	本市の畜産の特色として、畜産施設と市街地が近接する都市近郊型農業を形成しており、畜産臭気対策は緊急の課題である。 事業概要： 畜産資材や飼料等の高騰により厳しい畜産経営の中、畜産臭気の軽減を図るため、畜産環境対策推進事業として、消臭用薬剤の購入費等に補助を実施する。 事業目的： 畜産臭気の軽減を図り、畜産環境対策を推進する。 事業内容： 畜産臭気の軽減を図り、畜産環境対策を推進する。 問題点・課題等： なし						
	予算額	主要事業とする理由						
	3,500 千円	畜産臭気対策は緊急の課題であり、畜産臭気の軽減を図るため。						
	財源内訳	得られる成果						
	市費	畜産臭気の軽減を図り、畜産環境対策を推進することができる。						
	3,500 千円	目標値や目指すべき状態						
	国費	0 千円	令和元年度	令和2年度	令和3年度	単位		
	県費	0 千円	実績値	91.4	90.1	88.9		%
	その他	0 千円	目標値	85.0	85.0	85.0		%以下
D 値得られた成果と実績	決算額	得られた成果						
	3,498 千円	堆肥を市外に搬出するための運搬費、消臭用コーヒー敷料の購入費、消臭薬剤の購入費等の補助を行うことで、畜産臭気に対する苦情の増加を抑えた。しかし、畜産臭気に対する苦情は無くなっておらず、更なる事業推進が必要である。						
		成果指標			令和3年度	単位		
		乾燥ハウス等で測定した家畜糞尿の含水率平均値	実績値	88.9	88.9	%		
C 課題の整理	事業の評価・課題	堆肥を市外に搬出するための運搬費、消臭用コーヒー敷料の購入費、消臭薬剤の購入費等の補助を行うことで、畜産臭気に対する苦情の増加を抑えた。しかし、畜産臭気に対する苦情は無くなっておらず、更なる事業推進が必要。						
		D						
A 今後の課題の解決方向性に向けた	今後の事業の方向性	拡充推進 畜産臭気に対する苦情は、無くなっておらず、更なる事業推進が必要。						
	観点別評価	必要性		有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性	妥当	④上位施策への貢献	大きい	⑦コスト削減余地	ある	
		②市民ニーズ	高い	⑤成果向上の余地	ある	⑧受益者負担適正化余地	※対象・手段の変更 ない	
	③休廃止の影響	大きい	⑥類似事業の有無	ない				

目標項目（予算計上時に作成）
予算見積書で活用

主要施策の成果報告書で活用
評価項目（決算時に作成）